

決算総括および今後の経営方針

2015年5月11日

太陽誘電株式会社
代表取締役社長 綿貫英治

2015年3月期 通期業績サマリー

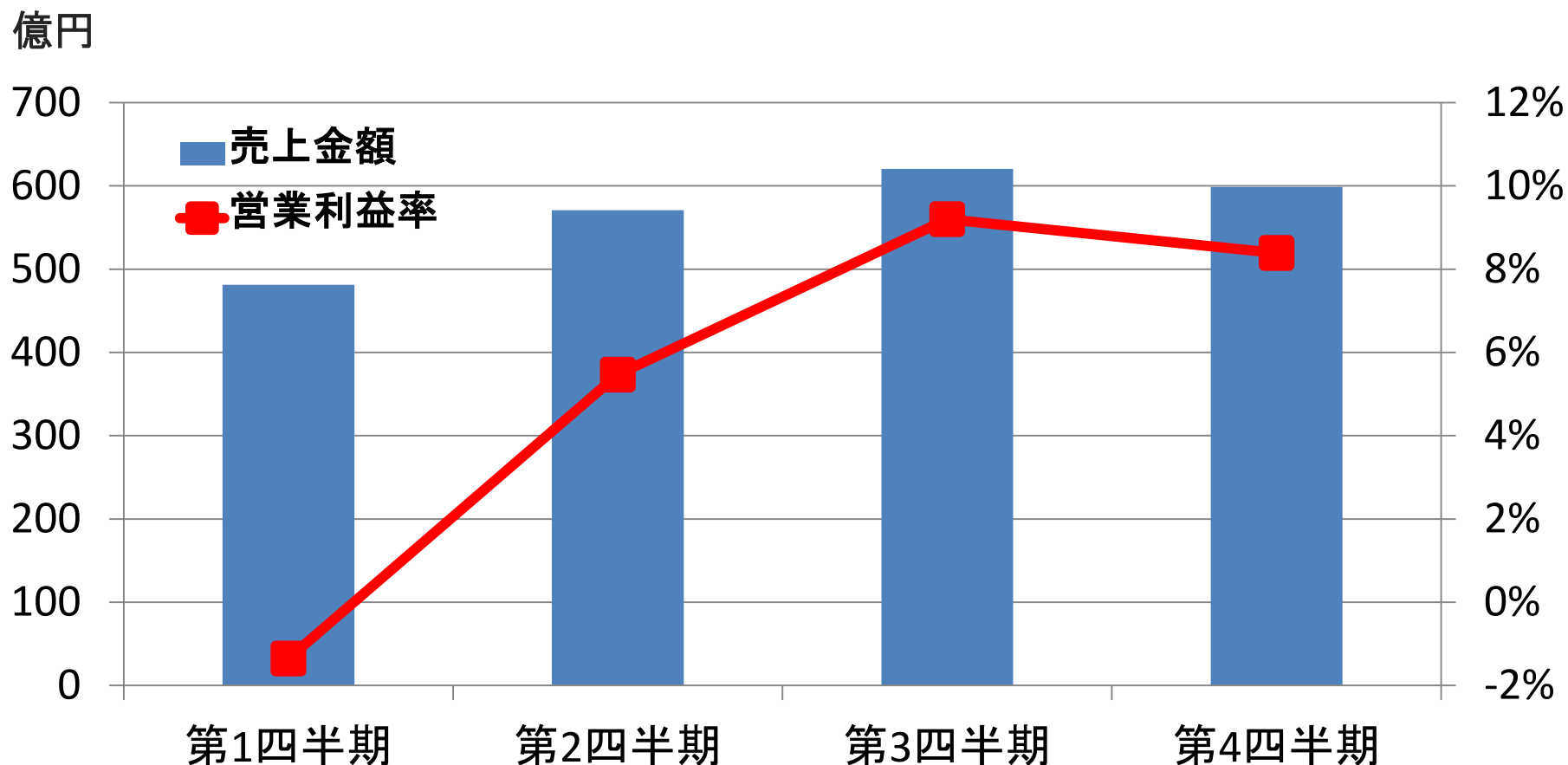
(単位:億円)	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減率	増減額
売上高	2,082	2,271	+9%	+189
営業利益	114	132	+16%	+18
経常利益	122	157	+28%	+35
当期純利益	70	109	+56%	+39

(四捨五入)

【2015年3月期の総括】

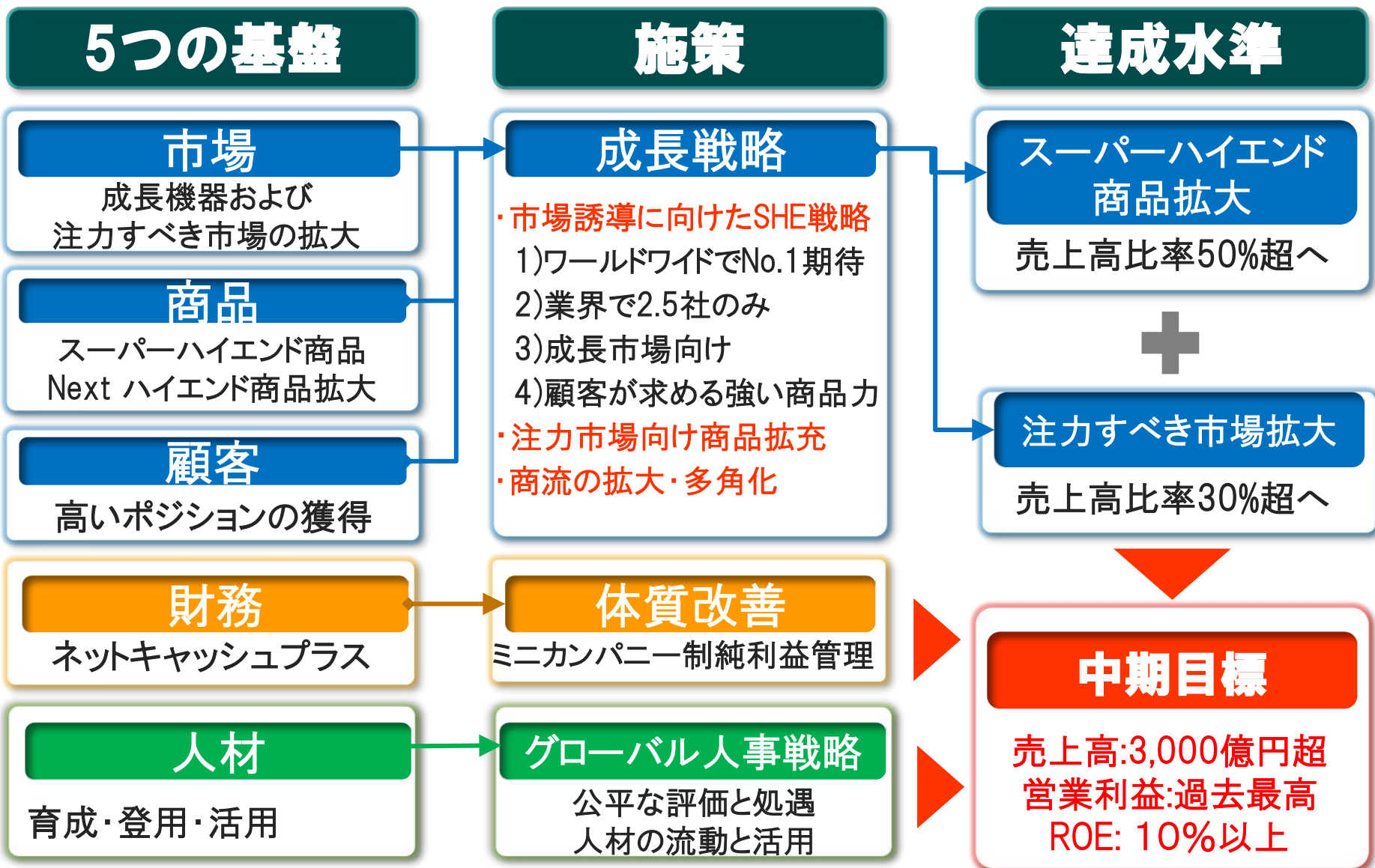
- フェライト及び応用と複合デバイスは計画通り拡大
- スーパーハイエンド商品の売上構成比は計画通り拡大
- コンデンサは需要の急拡大に対する能力不足による販売機会損失
- 一過性費用29億円の計上により、営業利益にマイナス影響

2015年3月期 四半期売上高、営業利益率推移



スーパーハイエンド商品の拡大により収益性が大幅改善
営業利益：上期25億円→下期107億円

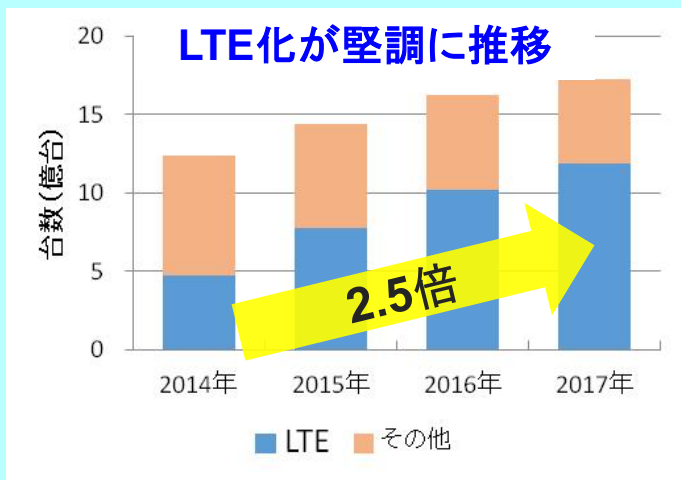
中期目標に向けての基本戦略



※注力すべき市場=自動車、産業機器、医療・ヘルスケア、環境・エネルギー

弊社の事業を取り巻く2大潮流

○電子産業を牽引するスマートフォン



マルチバンド化
CPU高性能化

部品
需要
拡大

○車載電子機器市場拡大 :1.7倍 18兆円(2012年)→30兆円(2020年)

情報系:1.7倍

ボディ系:1.6倍



安全系:1.9倍

駆動系:1.7倍

台数は4~5%
の成長
電子化の
加速

出典:JEITA注目分野に関する動向調査より(2013年12月)

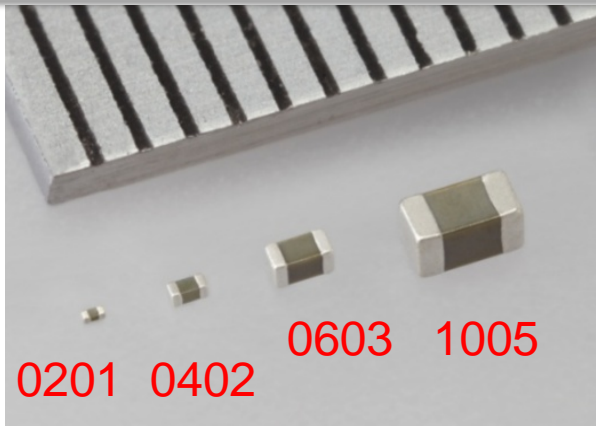


重点投資によるポジション確保

高機能部品の需要拡大
(スーパーハイエンド化加速)

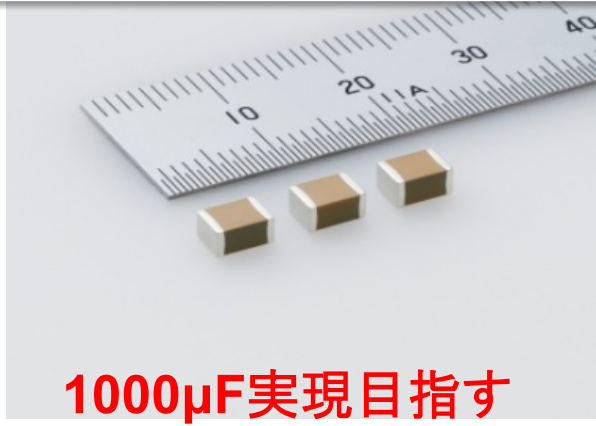
■超小型化

世界最小0201サイズ量産



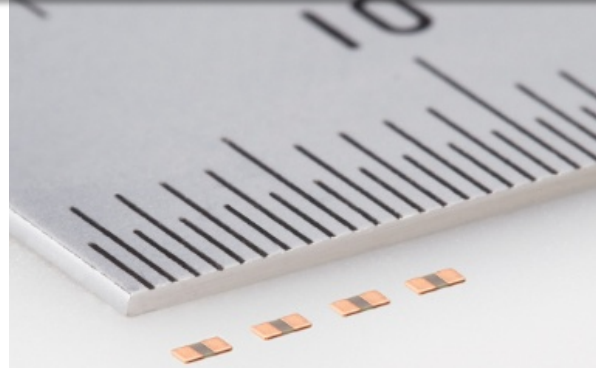
■超大容量化

世界最大容量330・470 μ F量産



■超薄型化

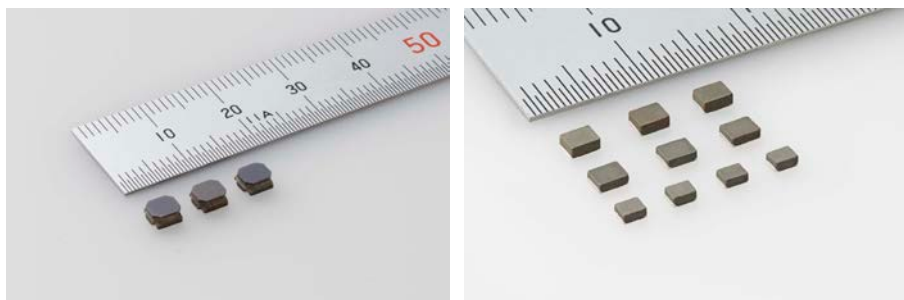
世界最薄110 μ m品の量産



さらなる薄型化(90 μ m品)下期量産へ

- ★材料技術の高度化
(自社開発・微粉・分散化)
- ★積層技術の高度化
- ★増産投資・生産効率の向上

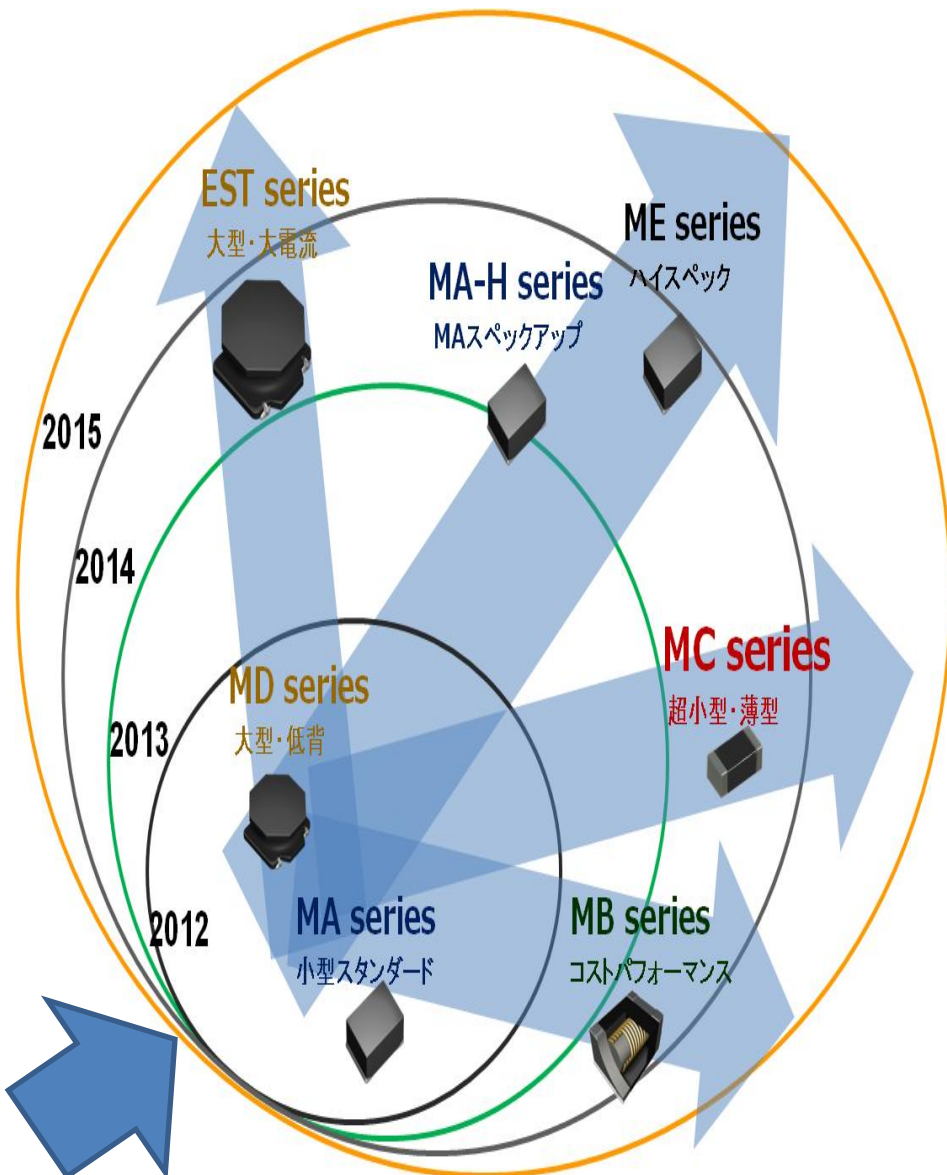
「MCOIL™」ラインアップ拡充：
月産4億⇒6億個体制へ



材料ラインアップの拡充
+
巻線/積層プロセス技術の高度化



フレキシブルな開発対応により
大型～小型・薄型化全方位へ適応



～2014年

2015年

2016年～

4G LTE

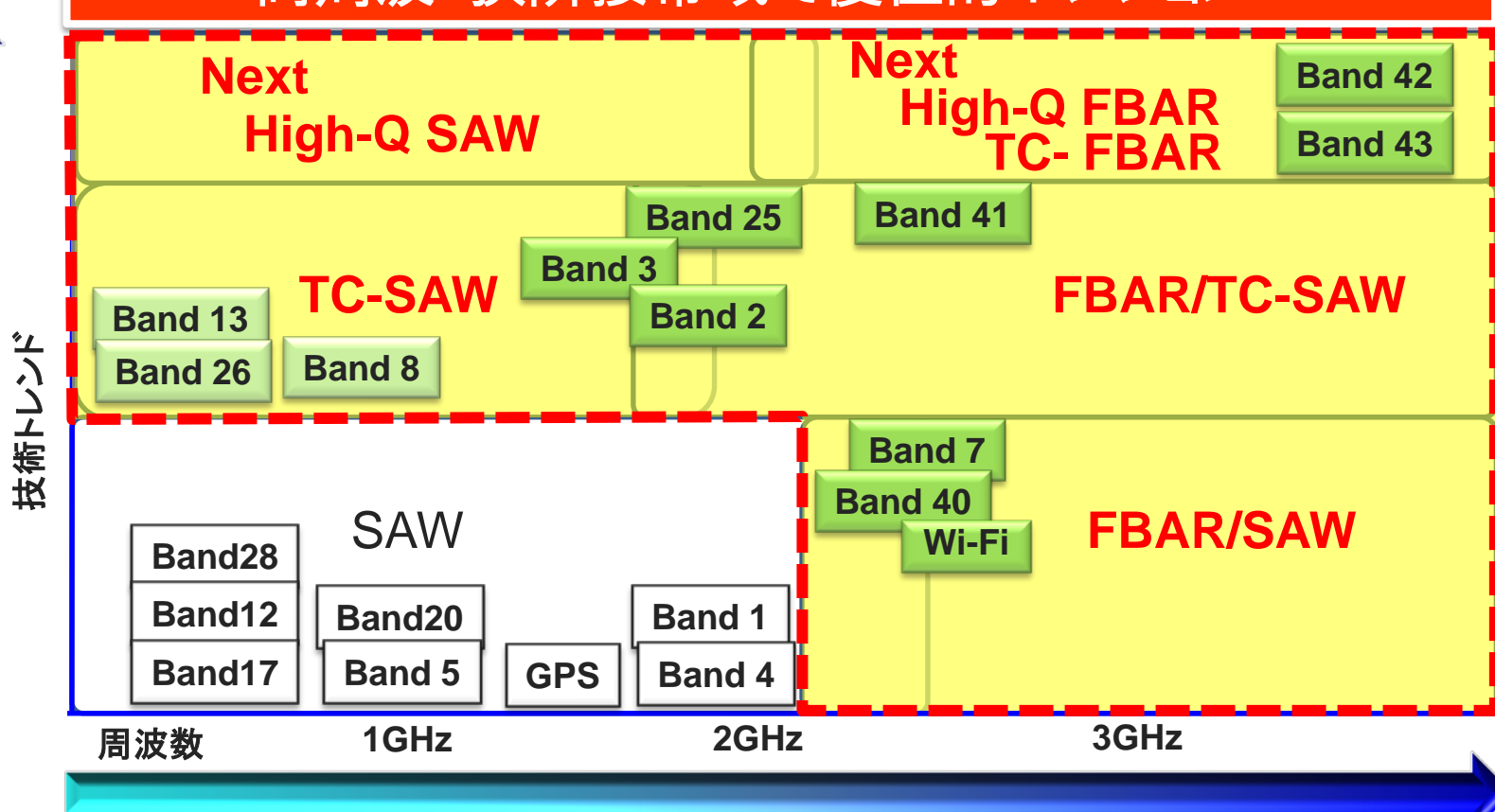
CA化、多バンド化

バンド拡張(～3.8GHz・5GHz LAA)

LTE-Advanced (CA/MIMO)

高周波化・狭隣接化

FBAR/SAWのハイブリッド技術により差別化
高周波・狭隣接帯域で優位的ポジションへ



Next ハイエンド商品

■産業機器(環境・エネルギー市場)・ヘルスケア機器

モーター駆動回生システム量産

電動自転車に採用
小型農機や車椅子等
へ展開



ワイヤレス監視システム量産

太陽光発電所で採用
「solmiv™」(ソルミーヴ)



光変位センサ商品化



トルクや変位の
超高精度測定

可視光通信商品化



電波が使えない場所
での超高速通信

■自動車市場

HV用インバータ

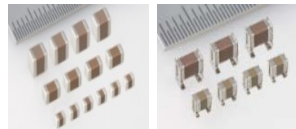
電力用セラミックコンデンサ (非鉛) 圧電アクチュエータ



アクティブダンパー

フェールセーフ

樹脂外電・フレームタイプ
コンデンサ

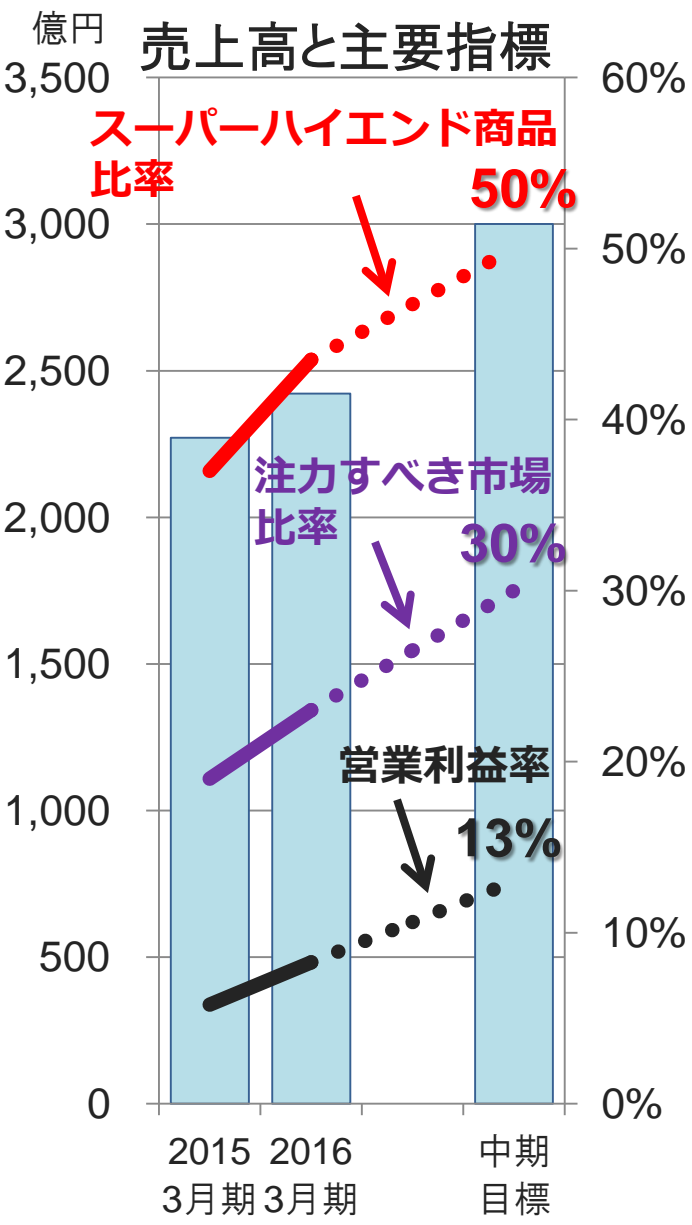


TAIYO YUDEN

TAIYO YUDEN **ELNA**

エルナー社の株式1,500万株を
取得し、資本業務提携
車載・産機市場向け大型EDLC、
リチウムキャパシタを共同開発

戦略投資と主な拠点

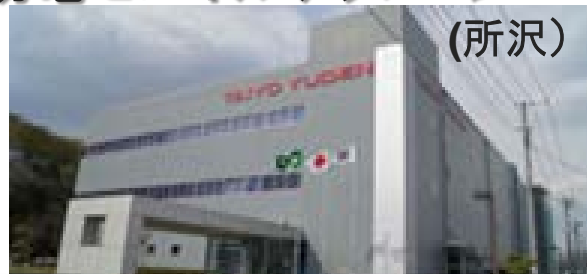


FBAR/SAW



須坂・新横浜から青梅に集約、所沢は能力増強

太陽誘電モバイルテクノロジー



MCOIL™ ザッツ福島



ザッツ福島で量産開始、中紀精機は新規建屋を建設

中紀精機(和歌山)



MLCC 新潟太陽誘電 TAIYO YUDEN(サラワク)



新潟とマレーシア(サラワク)は新規建屋を建設

2016年3月期 業績予想および配当政策

(単位:億円)	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	増減率	増減額
売上高	2,271	2,440	+7%	+169
営業利益	132	190	+45%	+58
経常利益	157	190	+21%	+33
当期純利益	109	120	+10%	+11

為替レート(1US\$)	108.42円	118.00円	—	—
--------------	---------	---------	---	---

(四捨五入)

【配当方針】

ネットキャッシュプラスを達成し、総還元性向30%を目指す

■2015年3月期 年10円配当(中間配当5円、期末配当5円)

■2016年3月期 年15円配当(中間配当5円、期末配当10円)

当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN